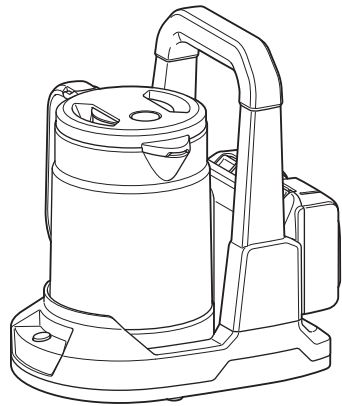


Makita

取扱説明書

充電式ケトル

モデル **KT360D**



このたびは**充電式ケトル**をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本製品の性能を十分ご理
解の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安
全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 充電式製品共通の安全上のご注意	4
・ 充電式ケトル安全上のご注意	10
・ 各部の名称	12
・ ケトル	12
・ 台座	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ バッテリー（別販売品）について	14
・ 使い方	17
・ 湯沸し方法	17
・ 持ち運び方	20
・ バッテリー残容量表示機能（台座）	21
・ 保護機能	22
・ 本製品およびバッテリーの保護機能	22
・ 故障かな？と思ったら	23
・ 保守・点検について	25
・ ケトル外側、台座のお手入れ	27
・ ケトル内側のお手入れ	27
・ クエン酸洗浄方法	28
・ フィルタのお手入れ	28
・ 保管について	29
・ ご修理の際は	29
・ 充電式ケトル 保証書	32

主要機能

主要機能	モデル	KT360D
バッテリーの種類		リチウムイオンバッテリー
使用可能バッテリー		BL1815N BL1820 BL1820B BL1830 BL1830B BL1840 BL1850 BL1850B BL1860B
電圧		直流 36 V (18 V × 2)
定格容量		0.8 L
湯沸し所要時間 (0.8 L 時) ※ ¹		約 8 分
寸法 ※ ²		長さ 233 mm × 幅 263 mm × 高さ 307 mm
質量		全体 3.3 kg ※ ³ 台座 1.0 kg ケトル 1.0 kg ※ ⁴

湯沸し可能水量および湯沸し可能回数※¹

電源	湯沸し可能水量	湯沸し可能回数 (0.8 L)
BL1860B × 2 (満充電)	1,7 L	2.1 回
BL1850B × 2 (満充電)	1,4 L	1.8 回
BL1840 × 2 (満充電)	1.1 L	1.4 回
BL1830B × 2 (満充電)	0.8 L	1.0 回
BL1820B × 2 (満充電)	0.5 L	0.6 回
BL1815N × 2 (満充電)	0.3 L	0.4 回
PDC1200 (満充電)	12.0 L	15 回

※ 1：開始水温 23 °C、室温 23 °C における参考値です。バッテリーの状態や気温、水温、気圧などにより変化します。

※ 2：バッテリー除く

※ 3：BL1860B × 2 装着時

※ 4：ケトルが空のとき

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

充電式製品共通の安全上のご注意

JPA027-7

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|-------------|--|
| ⚠ 警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
| ⚠ 注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
| 注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電式製品や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。また、接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
4. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
5. USB 電源端子付き製品の場合、USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

充電式製品の使用と手入れ

1. スイッチ付き製品の場合、スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
2. 充電式製品の誤始動を防ぐために、使用後はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。

⚠ 警告

3. 使用しない充電式製品は、子供の手の届かない乾燥した鍵がかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。
4. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む際に、スイッチが入らないようにご注意ください。
 - ・ 意図しない起動は事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

⚠ 警告

11. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
12. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。
 - ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

1. 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても機能しないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災の恐れがあります。

4. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

5. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

6. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

7. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

8. 正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ 周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

9. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

10. 充電製品を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

11. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式ケトルとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

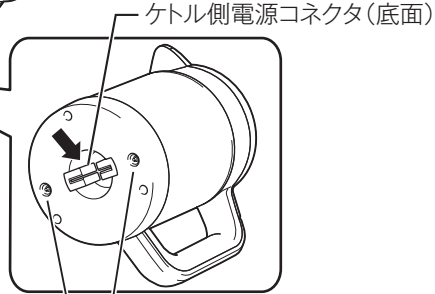
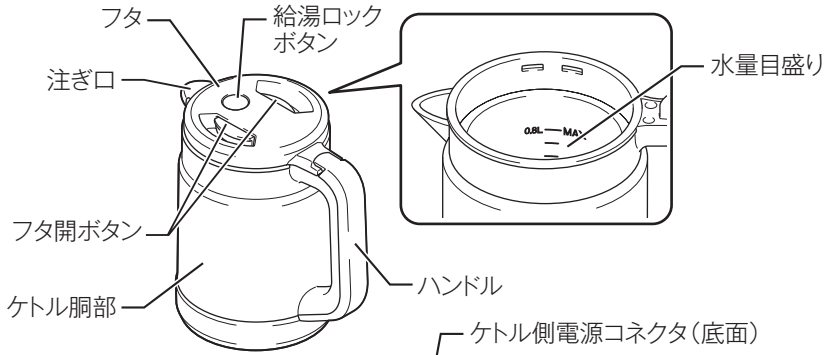
1. 本機は、安全に使用するための監督や指導の下、使用に際し危険が伴うことを理解する限り、8歳以上の小児が使用できますが、お手入れおよび保守はできません。本機は8歳未満の小児の手の届かない所に保管してください。
2. 本機は、安全に使用するための監督や指導の下、使用に際し危険が伴うことを理解する限り、身体的・精神的・感覚的な障害をお持ちの方、経験や知識がない方が使用できます。
3. 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使用しないでください。
4. 使用上の指示はすべてお読みください。
5. 本機は使用中に表面が熱くなるので、熱くなった部分に触れないでください。
6. 火災や感電を避けるため、本機を水などの液体に浸さないでください。
7. 使用しないときやお手入れの際にはバッテリーを抜いてください。また、本機が冷めるのを待って部品の着脱やお手入れをしてください。
8. 本機が破損した状態、あるいは何らかの故障がある状態で使用しないでください。検査や修理、調整の際は、指定のサービス施設に本機をお戻しください。
9. メーカー推奨品以外の別販売品を使用すると火災や感電、けがを引き起こす恐れがありますので使用しないでください。
10. ガス、火または電磁調理器、電子レンジ、あるいは熱したオーブンなどで使用しないでください。
11. ストーブやガスコンロなど熱源のそばや直射日光が当たる場所では使わないでください。本体のプラスチック部分が熱で損傷する恐れがあります。
12. 意図された以外の用途では使用できません。
13. 本機は安定した水平な平面に設置して使用してください。
14. 本機を床や地面に置いての使用はできるだけ避けてください。床や地面以外に置く所がない場合は、誤ってつまずかないような位置に設置して使用してください。
15. 分解や改造をしないでください。また、ユーザーご自身で修理可能な部品はありません。修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
16. 湯沸し中に注ぎ口をふさがないでください。
17. ケトルの給湯ロックは容器内を完全に密閉状態にするものではありません。お湯や水が入った状態でケトルが倒れると少量こぼれますのでご注意ください。

⚠ 警告

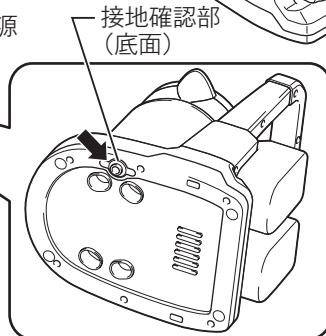
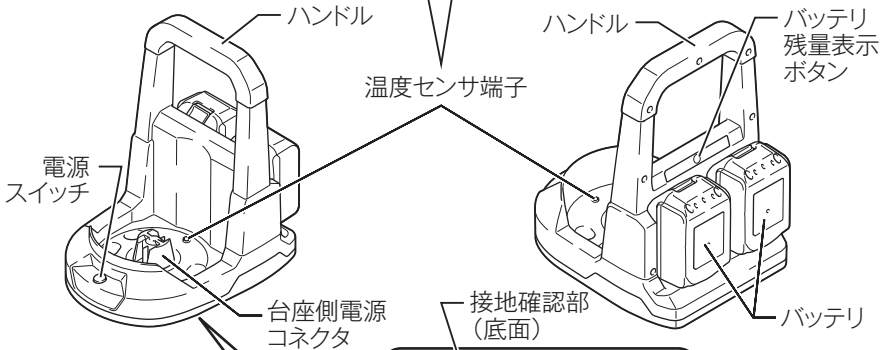
18. 壁や家具の近くで使用しないでください。蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。
19. 湯沸し以外の目的で使用しないでください。（例：牛乳を沸かす。紅茶を煮出す。スープを作るなど。）ふきこぼれて、やけどをする恐れがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。
20. 瓶やカップなど、水以外のものをケトルの中に入れてしないでください。ふきこぼれてやけどをする恐れがあります。さらに、故障や汚れの原因にもなります。

各部の名称

ケトル



台座



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

18 V バッテリー

- ・ バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah)
部品番号：A-60311
- ・ バッテリー BL1820B (容量 2.0 Ah)
部品番号：A-61715
- ・ バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号：A-60442
- ・ バッテリー BL1850B (容量 5.0 Ah)
部品番号：A-59900
- ・ バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号：A-60464
- ・ ポータブル電源ユニット
PDC1200
部品番号：A-71825
- ・ バッテリアダプタセット品
(18 V × 2)
部品番号：A-69076

注

- ・ バッテリアダプタ類は取扱説明書をよく読んで使用してください。

バッテリー（別販売品）について

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリー（別販売品）について

バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部分が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

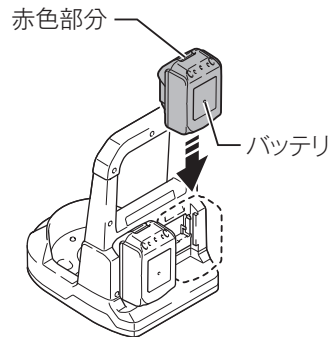
- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

バッテリーを取りはずすときは、台座のハンドルを支えた状態で行ってください。

- ・ ケトルが倒れ、熱湯でやけどする恐れがあります。

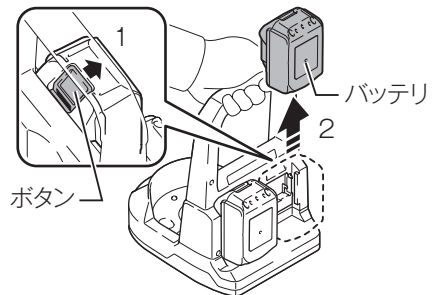
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、ボタン上部の赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



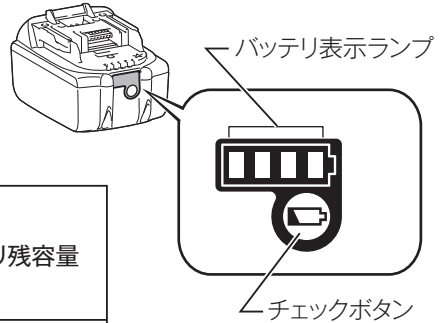
注

- ・ 本製品を使用するときは、必ず充電済のバッテリー 2 本を取り付けてください。
- ・ バッテリーが 1 本の場合やバッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合は電源が入りません。

バッテリー（別販売品）について

バッテリー残容量表示機能（バッテリー）

- モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。
- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

使い方

湯沸し方法

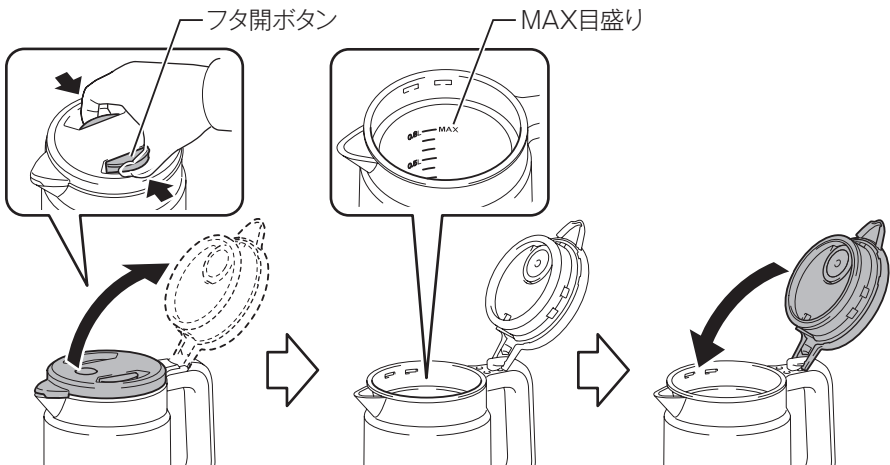
⚠ 警告

- ・ 不安定な場所や人がよく通る場所、子供の手が届く場所で使用しないでください。誤ってケトルを倒し、熱湯でやけどする恐れがあります。
- ・ フタを閉めるときは、しっかり押し込み、給湯ロックボタンをロックの状態にしてください。倒れたときに熱湯がこぼれ、やけどする恐れがあります。

1. フタを開け、水を入れます。
 - ・ フタ開ボタンを押しながらフタを開けてください。
2. ケトルに水を入れ、フタを閉めます。

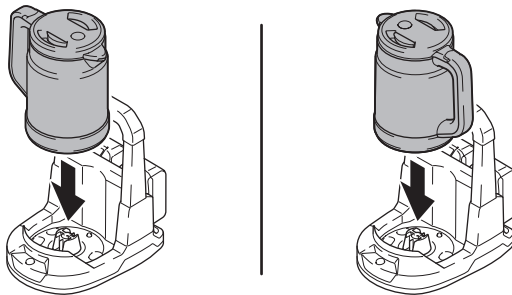
⚠ 注意

- ・ 初めて使用するときはすすいでから使用してください。
- ・ 水以外は使用しないでください。
- ・ フタを閉めた後は、給湯ロックボタンが上がっている状態にしてください。
- ・ 水を MAX 目盛りを超えて入れないでください。沸騰したときに熱湯がふきこぼれることがあります。
- ・ 空だきしないでください。空だきしても自動で停止しますが、変色や故障の原因となります。

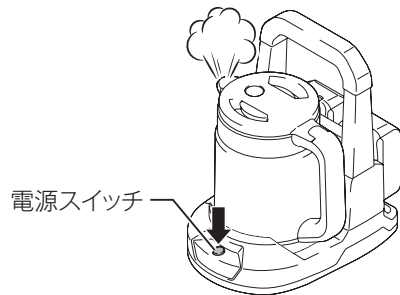


使い方

3. ケトルを台座に取り付けます。



4. 電源スイッチを押します。
- ・ ピッと鳴って電源スイッチがオレンジ色で点灯し、湯沸しが始まります。
 - ・ 水の温度が上昇すると、注ぎ口から水蒸気が出ます。
 - ・ 湯沸しが終わるとピーッと鳴り、電源が切れます。

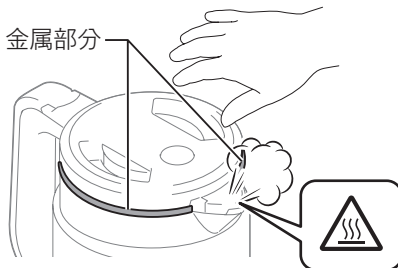


⚠ 注意

- ・ 蒸気に触れないでください。やけどする恐れがあります。
- ・ 湯沸し中や湯沸し後しばらくの間は、金属部分や△マークの付いた注ぎ口付近が高温になるため触れないでください。やけどする恐れがあります。



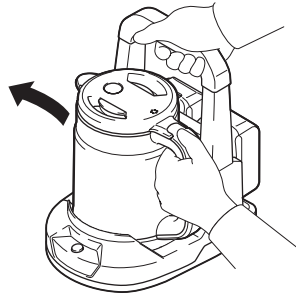
金属部分



使い方

注

- ・ 湯沸し中にケトルをはずすと電源スイッチがオレンジ色で点滅し、その後電源オフになります。電源スイッチが点滅中にケトルを台座に戻すと湯沸しを再開します。
 - ・ 湯沸し中に台座を持ち上げると、電源スイッチがオレンジ色で点滅し、その後電源オフになります。電源スイッチが点滅中に台座を降ろすと湯沸しが再開します。
 - ・ 湯沸し中にバッテリーの残容量が少なくなると3回ブザーが鳴り、加熱を停止して電源スイッチがしばらく赤色で点滅します。
5. ケトルを取りはずします。
- ・ 台座のハンドルを支え、ケトルのハンドルを持って取りはずしてください。

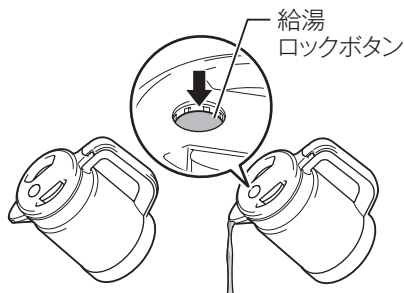


使い方

6. 給湯ロックボタンを解除し、湯を注ぎます。

⚠ 警告

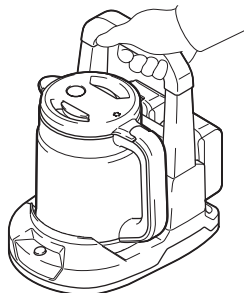
- ・ 湯を注ぐときは熱湯でやけどしないように注意してください。
 - ・ ケトルの給湯ロックは容器内を完全に密閉状態にするものではありません。お湯や水が入った状態でケトルを傾けたり、倒れると少量こぼれますのでご注意ください。
 - ・ 沸騰したお湯がケトル内に入っている状態で、ケトルを転倒させないでください。
 - ・ 沸騰直後にケトルのフタを開けないでください。やけどをする恐れがあります。
- ・ 給湯ロックボタンを押した状態にすると、ロックが解除され、注ぎ口からお湯を注ぐことができます。
 - ・ お湯を注ぐとき以外はロックの状態にしてください。



持ち運び方

⚠ 警告

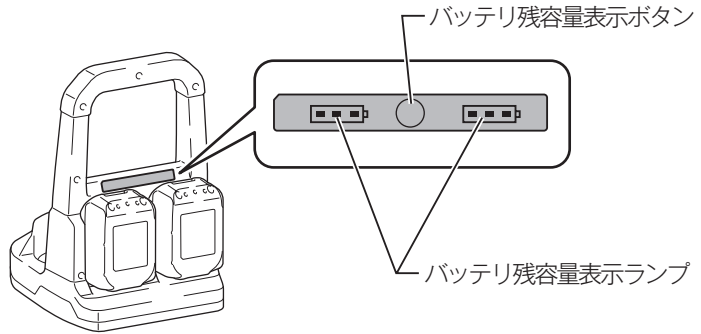
- ・ 湯沸し中や湯が入った状態で台座にケトルをのせて持ち運ばないでください。転倒したり、落としたりしたときに熱湯がこぼれ、やけどする恐れがあります。
- ・ 台座にケトルをのせて持ち運ぶときは、台座のハンドルを持ってください。



使い方

バッテリー残容量表示機能（台座）

- ・ 台座のバッテリー残容量表示ボタンを押すと、バッテリー残容量表示ランプが点灯し、バッテリーの残容量が数秒間表示されます。



バッテリー残容量表示ランプ ■:点灯 □:消灯 ▨:点滅	バッテリー残容量
	50 % - 100 %
	25 % - 50 %
	0 % - 20 %
	バッテリーの交換

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ 湯沸しが完了する前にバッテリーが切れた場合、電源ボタンが赤色点滅します。

保護機能

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますと自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
<ul style="list-style-type: none">・ 本製品およびバッテリーの温度が高温になると自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none">・ 湯沸し中にバッテリーの残容量が少なくなると 3 回ブザーが鳴り、加熱を中止して電源スイッチがしばらく赤色で点滅します。<ul style="list-style-type: none">・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none">・ バッテリー容量が極端に少ない場合に電源ボタンを押すと数秒後に 1 回ブザーが鳴り、加熱を中止して電源が切れます。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーが確実に差し込まれていない。	バッテリーを確実に差し込んでください。
	バッテリーが充電されていない。	充電済のバッテリーに交換してください。
電源スイッチを押すとピーッと鳴り、電源が切れる。	沸騰直後で、センサが高温状態にある。	電源オフの状態ですばらく放置してから電源を入れてください。
電源スイッチを押すとオレンジ点滅し、電源が切れる。	温度センサの端子が汚れている。	温度センサの端子を乾いた布でふいて汚れをとってください。
	台座が十分に接地していない。	安定した水平で平面な場所に置いてください。
電源スイッチを押すとしばらく赤色点滅し続ける。	台座側もしくは本体側の電源コネクタの端子が汚れている。	バッテリーをはずした状態で電源コネクタの端子を乾いた布などでふいて汚れをとってください。
お湯があふれる。 ふき出す。	MAX 目盛り以上の水を入れて湯沸しをした。	ケトルの容量は0.8 Lです。水の量を目盛りの範囲内まで減らしてお使いください。
	水以外のものを入れた。	水以外のものを入れて沸かさないでください。
お湯がにおう。	水道水に含まれる塩素の量によりカルキ臭が残ることがあります。	
	使いはじめのうちは、樹脂などのおいがあります。ご使用とともに少なくなります。	
使用后、台座に水滴がつく。	冷えた蒸気が水滴になり、付着する場合があります。	
傾けるとお湯がもれる。	製品の性能を保つため、フタに空気抜きを開けています。給湯ロックボタンがロック状態になっていても、本体を傾けると注ぎ口からお湯がもれますので、ご注意ください。	

故障かな？と思ったら

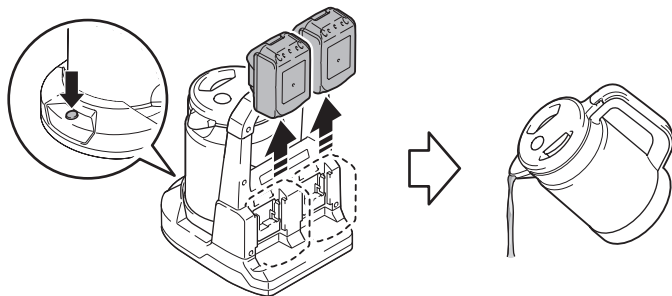
症状	原因	対策
沸騰していないのに、沸騰した時と同様にピーッと鳴り、電源が切れる。	温度センサの端子が汚れている。	温度センサの端子を乾いた布で拭いて、汚れを取ってください。
	ケトルと台座の間にゴミなどが挟まってケトルが台座から少し浮いている。	ケトルの裏や台座に付着したゴミを取り除いてください。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。
- ・ お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にしないでください。

⚠ 警告

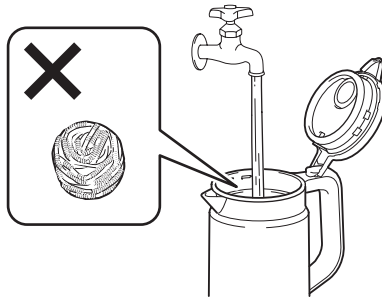
点検・整備の際には必ず電源スイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ 点検・整備の際には、必ずケトルは空の状態にしてください。事故の原因になります。

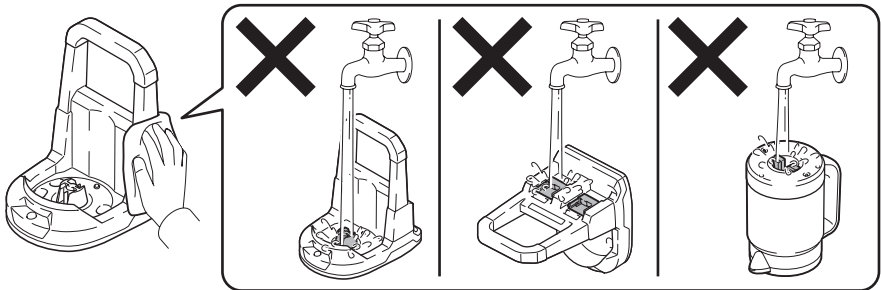


⚠ 注意

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ みがき粉、漂白剤、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。



- ・ ケトル、台座は丸洗いしないでください。電源コネクタ部を濡らさないでください。



- ・ 食器洗浄機や食器乾燥機を使用しないでください。
- ・ ケトル内部を水洗いしたときは乾いた布などで拭き取り、よく乾燥させてください。ドライヤーを使用しないでください。



保守・点検について

ケトル外側、台座のお手入れ

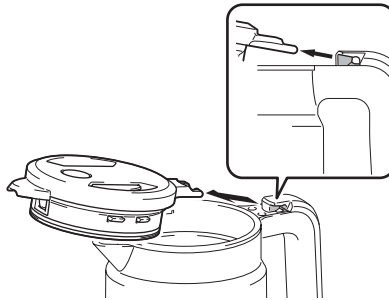
1. 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取ります。
 - ・ 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
2. 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させます。

注

- ・ 熱や蒸気に触れる樹脂部分は、ご使用に伴って傷んでくる場合があります。安全な材質を使用しておりますが、表面が変色したりざらざらしてきたら、交換することをおすすめします。

ケトル内側のお手入れ

1. フタを取りはずします。
 - ・ フタを開けて下図矢印の方向に引き抜いてください。



2. 水でよくすすぎ、内側を乾燥させます。
 - ・ 本体内側の汚れ（白い浮遊物、赤や白の斑点状のもの、虹色の変色など）は、水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。
 - ・ 衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら定期的にクエン酸での洗浄を実施してください。

注

- ・ ミネラルウォーターやアルカリイオン水などを沸かしたときは、こまめにお手入れをしてください。
3. フタを元の位置に取り付けます。

保守・点検について

クエン酸洗浄方法

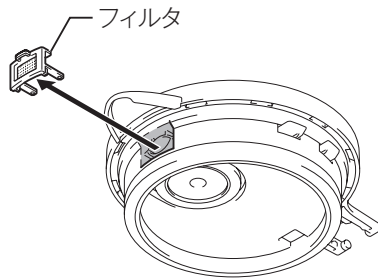
1. 水を MAX 目盛りまで入れ、クエン酸を 40g 程度入れてかき混ぜます。
2. フタを閉めて電源スイッチを入れます。
3. 沸騰して電源が切れてから約 1 時間放置します。
4. お湯を捨て、水でよくすすぎます。
 - ・ 汚れが残っている場合は、やわらかいスポンジなどで拭き取ってからよくすすいでください。
 - ・ クエン酸のにおいが気になる場合は、再度水だけで沸騰させ、お湯を捨ててください。

注

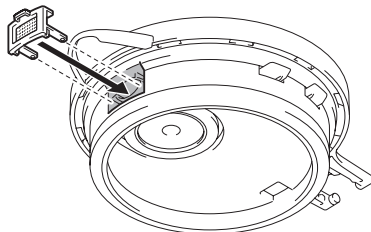
- ・ 汚れが落ちにくい場合は、手順 1 から 4 を再度実施してください。
5. ケトル内側をよく乾燥させます。

フィルタのお手入れ

1. フィルタを取りはずします。
フィルタを下図矢印の方向に引き抜いてください。



2. 取りはずしたフィルタを水洗いします。
水洗いしたフィルタは乾燥させてください。
3. フィルタを元の位置に取り付けます。



保守・点検について

保管について

- ・ 発火を避けるために、バッテリーを取りはずした後、本製品が完全に冷えてから保管してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

KT360D-JP-2109

IWT